

## 前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 02 学校教育の充実

施 策 : 03 健康・安全活動の支援

<b>施策担当職・氏名</b>	学校教育指導課長 和田 英
-----------------	---------------

### 1. 施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

	<p>子ども達が生き生きと学校生活を送るためには、体位・体力の発達促進が図られ、心身ともに健康であることがまず大切です。そのうえで、日々の学校生活において、児童生徒が安全に登下校でき、学校内においても学校環境衛生の維持管理等により、安心・安全に生活できることが必要であると考えます。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	24.3	30 26.7	33 28.3	36 -	40 -	42 -	- 22.6	
2	幸福 子どもが悩みを相談できる相手がいると感じる人の割合 単位 %	52.6	54 53.8	56 56.2	59 -	62 -	64 -	- 31.6	
	単位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	3093 学校保健事業 環境衛生検査実施回数 単位 回	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	-	-
2	3172 学校医等設置事務 学校医等配置数 単位 人	目標値	26	26	26	25	25	25
		実績	26	26	27	27	-	-
3	3270 学校安全体制整備推進事業 スクールガード登録者数 単位 人	目標値	450	450	450	450	360	360
		実績	354	324	322	326	-	-
4	9726 小学校情報メール配信システム支援事業 メール配信システム導入学校数 単位 校	目標値	8	8	8	8	8	8
		実績	7	8	8	8	-	-
5	9727 中学校情報メール配信システム支援事業 メール配信システム導入学校数 単位 校	目標値	6	6	6	6	6	6
		実績	5	6	6	6	-	-

## 前期基本計画 平成28年度 施策方針評価書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 02 学校教育の充実

施 策 : 03 健康・安全活動の支援

施策担当職・氏名 学校教育指導課長 和田 英

## 2. 施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」により、学校、家庭、地域の関係機関・団体等が連携し、地域のボランティアによるスクールガードを組織して、不審者から子どもたちを守り、子どもたちが安全に登下校できるよう、学校安全の充実を図りました。「学校保健担当者会議」等により、学校保健活動に関する業務の進め方について共通理解を図り、日常の業務や指導の充実を図りました。</p>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】 安心・安全な登下校対策</p> <p>【達成状況】 年度当初にすべての小中学校において交通安全教室を実施し、自転車の乗り方指導を行い、交通事故の未然防止に努めました。平成28年度は323名の方にスクールガードに登録いただき、その協力のもとに、登下校の子どもの見守り活動の一層の充実を図りました。</p>	

## 3. 施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<p>全国的に家庭の教育力の低下、家庭の経済状況の問題、虐待やネグレクトなどの親の養育態度の問題等が、一層深刻になっています。その中で、児童生徒の体位・体力の調和的発達や心身の健康の維持等をどう図っていくかが重要な課題となっています。</p>	

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
<p>児童生徒が生き生きと学校生活を送るためには、体位・体力の調和的発達を促すとともに、通学路を含め、安全な学校環境を作っていくことが必要であり、今後も家庭、地域との連携を深めながら取り組んでいきます。</p>	

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】 児童生徒の命に係わる事故等を防ぐための交通安全指導やスクールガードによる不審者対策の継続・充実が必要です。また、体位・体力の発達促進、心身の健康維持の取り組みも、引き続き「学校保健事業」、「学校医設置事業」などにより推進していきます。</p> <p>【引継課題】 交通安全指導やスクールガードの見守り活動等の充実により、交通事故防止の取り組みを強化していく必要があります。</p>	

